



毎年7月のシャボン玉月間では「市民と自治体の協力で水環境を守る施策を守り育むこと」を目的に、首長のメッセージを寄せてもらうよう行政に働きかけています。大阪では、今年度20の自治体に依頼して14の自治体からメッセージをいただきました。その一部を紹介します。

四條畷市は大阪府の北東部、奈良県との県界に位置し、北生駒山系の豊かな緑と室池の水源に恵まれた自然豊かなまちです。本市では、河川やため池の水辺環境の保全等をめざし、市民、事業者、行政が協働となった取組を進めております。とりわけ親子でみる自然散策と水辺の生物観察会等を通して水環境への意識向上に務めるほか、昨年度からは廃油を航空燃料（SAF）に再利用するプロジェクトに参画し、市民との協働で事業を推進しています。このように本市が環境施策を展開する中で、貴会が長年にわたり地域で尽力されてきた活動は、大変心強いものであります。貴会のこれまでの歩みに敬意を表するとともに、今後益々のご発展を祈念申し上げます。

四條畷市長 銭谷 翔



26年度ポスター

吹田市は、北摂の自然と都市の利便性が調和するまちです。私たちはこのまちをより良いものとして次世代へ引き継ぐ責務があります。本市では2050年カーボンニュートラルの実現に向け「第2次地球温暖化対策新実行計画」を策定し、脱炭素社会のモデルケースとなるまちづくりを推進しています。実質再生可能エネルギー100%のまちづくりをはじめ、市民の皆様が省エネ行動を可視化できる「ゼロカーボン・チャレンジ」への参加促進や、廃食用油のSAF化など、資源循環・エネルギー施策を積極的に展開しているところです。貴会の環境への想いがより良い未来へとつながり、本月間を機に、環境保全の気運が一層高まりますことを心より祈念申し上げます。

吹田市長 後藤 圭二

豊能町は、大阪府の北部に位置し、都市近郊でありながら清らかな河川、豊かな里山や棚田などに恵まれた四季折々の景色を楽しめるまちです。本町では、こうした豊かな環境を次世代に引き継ぐため、豊能町総合まちづくり計画を策定し、「自然に抱かれた多様性・創造性で未来が輝くまち とよの」を将来像に掲げ、様々な施策に取り組んでいるところです。今後も一人ひとりが環境に配慮した行動を選択できますよう、住民の皆様と手を携えながら、水環境の整備や保全に取り組み、自然に優しいまちづくりを推進してまいります。結びに、貴会の長年にわたる水環境保全へのご尽力に深く敬意を表しますとともに、活動の輪がより一層広がりますことを心よりご祈念申し上げます。

豊能町長 上浦 登

上記以外に、大東市、寝屋川市、交野市、茨木市、枚方市、摂津市、門真市、能勢町、守口市、八尾市、羽曳野市からもメッセージが届いています。これらは、後日、生活クラブ生協大阪のHPに掲載します。また、全国のメッセージは、せっけん運動ネットワークのHPで機関紙「せっけん運動」メッセージ特集号（10月中旬Web公開）に掲載されます。ぜひご覧くださいね♪